

会長あいさつ

マグカル担当局長
兼 県立青少年センター館長 薄井 英男



会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、県立青少年センターの事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

天然資源の乏しい我が国は科学技術により発展してまいりました。IPS 細胞等の再生医療や原子力に代わる新しいエネルギー開発等々、科学技術の進歩は人類の繁栄に益々必要不可欠なものとなっております。その担い手を育てることが、社会の義務であり使命であると考えます。家庭で、学校で、そして地域で、子どもたちに科学の楽しさや素晴らしさを体験してもらう機会をできるだけ多く提供し、興味関心を喚起するとともに、科学する『心』と『態度』を育てなければなりません。

その中で、私たち協議会が主催、共催している「子ども科学探検隊」「中高生サイエンスキャリアプログラム」「子どもサイエンスフェスティバル」等の事業は、まさに、子どもたち、青少年に対して、知的好奇心の喚起やものづくりなどの喜びが実感できる取り組みとして大いに意義があるものと確信しております。

昨年度、「さがみロボット産業特区」と連携して開催した「青少年のためのロボフェスタ2013」は6,000名を超える皆さまにご来場いただきました。今年度はじっくりとロボットを体験していただくために11月23日、24日の2日間で開催します。

協議会のこうした科学啓発や普及の取り組みを、更に充実してまいりたいと考えておりますので、引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年度の事務局のメンバーです。引き続きよろしく願いいたします。

会長	薄井 英男	館長
事務局長	高尾 成弘	科学部長
事務局次長	上原 <small>ゆきお</small> 志郎	科学支援課長
事務局担当	山田 幸一	科学支援課副技幹
	<small>からすだ</small> 烏田 雄輔	科学支援課技師



子ども科学探検隊 開講式

平成26年度の協議会主催講座「子ども科学探検隊」が始まりました。今年度も多くの協議会会員の皆さまにご協力を賜り、施設を訪問させていただきます。お手数をお掛け致しますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

H- Aロケット打ち上げ成功の翌日5月25日(日)、ABCの各コース20名の参加者計60名が、青少年センターに一堂に会して開講式が行われました。福地 青少年センター副館長からのあいさつの後、子どもたちは「おもしろ科学実験ショー」を見学し、昼食後、元気よくコース別に探検場所へ出発しました。

コース	訪問日	時間	訪問先
A	5月25日(日)	午後	三菱みなとみらい技術館
	7月25日(金)	半日	神奈川大学 工学部
	8月1日(金)	1日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
	8月8日(金)	半日	水産総合研究センター中央水産研究所横浜庁舎
	8月21日(木)	1日	桐蔭横浜大学
	9月27日(土)	半日	横浜市繁殖センター
	10月25日(土)	半日	日本大学 生物資源科学部
B	5月25日(日)	午後	横浜市立野毛山動物園
	7月25日(金)	1日	東芝未来科学館
	8月1日(金)	1日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
	8月5日(火)	半日	関東学院大学 理工学部
	8月22日(金)	半日	海洋研究開発機構 横浜研究所
	11月8日(土)	1日	神奈川県立生命の星・地球博物館
	12月6日(土)	半日	伊勢原市立子ども科学館
C	5月25日(日)	午後	日本郵船氷川丸
	6月7日(土)	半日	はまぎんこども宇宙科学館
	8月1日(金)	1日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
	8月12日(火)	半日	神奈川県環境科学センター
	8月20日(土)	1日	産業能率大学
	10月4日(土)	半日	横浜市立金沢動物園
	10月25日(土)	半日	日本大学 生物資源科学部



福地 青少年センター副館長から「『なぜだろう？ 不思議だな～』と思ったら、是非、自分で調べてください。図書館に行くのもいいでしょう。学校の先生に訊くのもいいでしょう。それが『科学する』ということです。実は分からないことはまだまだいっぱいあるのですよ。」というお話を聞き、科学探検隊に参加する気持ちを新たにしました。



センター職員による『おもしろ科学実験ショー』です。「空気」をテーマに様々な実験を通して気圧の不思議を紹介しました。軽妙な口調で子どもたちを引きつけながらの実験ショーは、後ろで参観されていた保護者の方々にも大受けでした。



Aコースは三菱みなとみらい技術館を訪問しました。

前日のH-Aロケット打ち上げの成功を記念して特別講座をご用意いただきました。タイムリーな話題に子どもたちの関心も高く大喜びでした。航空宇宙ゾーンガイドツアーや低温実験なども体験しました。



緊張をほぐしているところです。パワーポイントでロケットの飛ぶ原理など分かりやすく説明していただきました。



「ロケット燃料の低温を体験しよう」で、液体窒素による - 196 の世界を体感しました。バラの花がバラバラに！



ロケットエンジンの展示コーナーです。本物です。思わず覗き込んでしまいました。



科学技術の進化はこんなところにもありました。コミュニケーションロボット「WAKAMARU」です。頭の良さにビックリです。

Bコースは横浜市立野毛山動物園を訪問しました。

探検隊の子どもたちは、普段は立ち入ることができないバックヤードを探検しました。動物の食べている餌の内容や、骨格の様子など職員の方から詳しい説明を受けました。



外からの見学の後、いよいよバックヤードに入ります。ドキドキです。



キリンの寝床です。藁が敷き詰められています。清潔で思ったより広々していました。



動物たちが食べている餌を作っています。動物に合わせてきめ細かくセットされていました。



動物の骨・骨格について画像を見ながら分かりやすく説明していただきました。

Cコースは日本郵船氷川丸を訪問しました。

船内を探検したあと、ロープワーク講座を受けました。緩まないロープの結び方を教わりました。



氷川丸に到着！ 天気もよく風もさわやかで横浜港がとても気持ちよかったです。



操舵室にも入れてもらいました。「面舵いっば〜い！」舵を触らせていただきました。



船内バックヤードは急な階段が続きます。とてもよい運動になりました。



船長さん自らロープの結び方を教わりました。簡単そうで結構難しかったです。

感想（アンケートからの抜粋）

- ・ ロケットについて映像による説明が分かりやすかったです。（Aコース小学5年）
- ・ 時間がなくて見られなかったところもあるので、また来たいです。（Aコース小学4年）
- ・ 人とチンパンジーの脳は全然違うことが分かりました。（Bコース小学4年）
- ・ キリンの寝床など動物園の裏側が見られておもしろかった。（Bコース小学6年）
- ・ 一般の人が入れない所も入れた。いろいろあってすごかった。（Cコース小学5年）
- ・ 人生で何回もないような体験ができた。とても勉強になりました。（Cコース小学6年）



星 空 教 室

協議会のイベントを中心に、青少年センターの講座をご紹介いたします。

平成26年度の講座は4月5日（土）の星空教室からスタートしました。春といえども、まだまだ肌寒い中、子どもと保護者を始め74人もの皆さまが参加しました。この日のメインは月齢6の月と木星です。JAXAのイプシロンロケットや若田さんのご活躍もあり、宇宙の話題が身近になった気がします。毎月1回ある星空教室ですが、毎回すぐに定員に達してしまう大人気の講座です。



まず講義から始めます。しっかり知識を持ってから観察します。月と地球の位置関係と月齢。



目標の天体ごとに望遠鏡がセットされます。それぞれ順番に見ていただきます。



木星が見えました！木星は太陽系第5惑星で質量ともに最大の太陽系惑星です。直径は地球の11倍、体積は1300倍ですが、重さは318倍という大きさのわりに軽い惑星です。



「うわ～ 図鑑の写真と同じだ！」感動が大事！図鑑で見ると実際に本物を見るのとでは、感じ方が全然違います。体験と感動が学習意欲の原動力になります。

（木星の画像はウィキペディアからの引用）



事務局より

協議会理事に変更がありました。

神奈川県政策局政策部科学技術・大学連携課の 平田 実 課長のご異動に伴い、新しく着任されました 早川 剛弘 新課長にお引き受けいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

今回、子ども科学探検隊がお世話になりました野毛山動物園の人気者、フタコブらくだのツガルさんが5月23日静かに天に召されました。人間でいうと120歳という長寿でした。ツガルさん、長い間ありがとうございました。



野毛山動物園のホームページの画像です。
やさしい目が印象的でした。

協議会ニュースを協議会員同士の情報交換の場としてよりご活用いただきたいと思いますと考えております。会員の皆様からの情報等をお寄せください。協議会ニュースを通して発信していきたいと思っております。どうぞご活用ください。

ご意見・ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。

問い合わせ先

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局

(県立青少年センター科学部)

からすだ
鳥田、上原

TEL 045 - 263 - 4470

FAX 045 - 241 - 7088